湯田　哲　議員

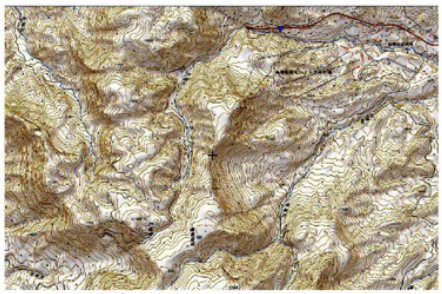
町政を問う
一般質問

GTレンジャーによる本町の特色ある山岳地形を活かした観光振興は

町長＝開設後の管理や費用対効果などの問題がある

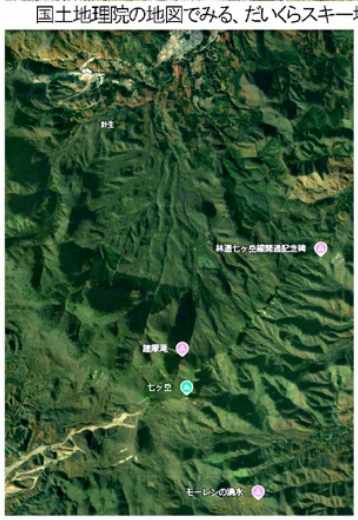
問　国土地理院の地図で本町を見ると多くの山々が散在し、それらの山頂は高低差の少ない勾配、曲線、つまり稜線、尾根により繋がっています。いわゆる登山の縦走コースです。そこでスキー場を冬シーズン以外にも活用するため「たかつえスキー場」から「だいくらスキー場」そして「南郷スキー場」までの稜線をつなぐ登山ルートを開設、それぞれのスキー場ロッジはトイレ、食事などの休憩所、登山者のベースキャンプと活用してはと考えます。ちなみにその登山ルートの新設を担う人材は、「新しい道をつくる挑戦者であり、未開の地を開拓する精神を有する者」、GTレンジャー（仮称）と命名し、ちなみに、GTレンジャーのGTとは、緑茶、グリーンティーの頭文字で、森林のグリーン、茶は音声的に「ちゃ」でその後のレンジャーでチャレンジャー（挑戦者）です。このGTレンジャーを町内から募集し、この新しい山岳ルートを開設し観光振興してはの問題があります。議員からの意見として受け止めます。

町長　地図で確認したところ、各スキー場を繋ぐ登山ルートを想定した場合その稜線や高低は比較的緩やかな勾配であると推測されます。また、登山ルート周辺には、天然のブナ林が広がる場所や歴史的にも重要な「巡見使の道」「木地師集落跡、墓地」などがあり、本町の豊かな自然と奥深い歴史を感じる魅力的なルートになると思われますしかし、この登山道を開設するには、その場所の現地調査や開設する人材や維持管理を担う人材、開設後の維持管理費用が観光誘客に係る経済効果など

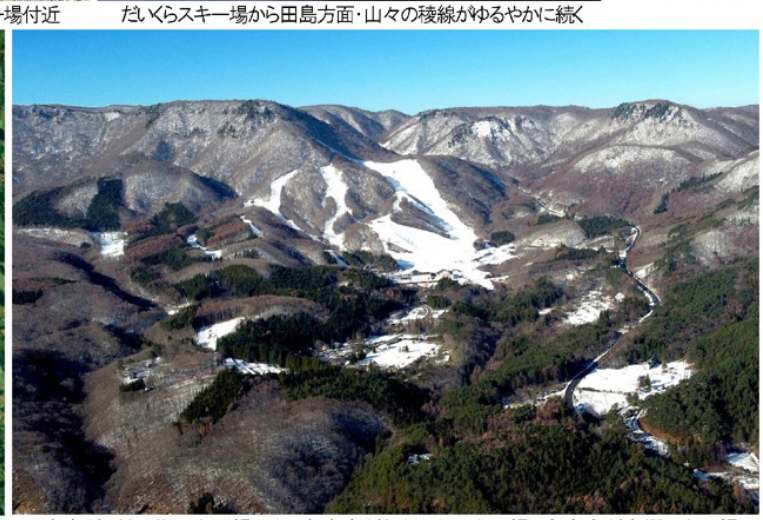


国土地理院の地図でみる、だいくらスキー場付近

だいくらスキー場から田島方面・山々の稜線がゆるやかに続く



たかつえスキー場（下）、だいくらスキー場（上）



中央が、だいくらスキー場、その左方向がたかつえスキー場、右方向が南郷スキー場

【その他の質問】

・この冬の高齢者等除雪支援体制の計画、見通しは

・ICTで授業風景が変わる中、児童生徒・先生方の状況は